

1.奥入瀬エリア

Lake Towada and Oirase Sketch Map



奥入瀬溪流の特徴・魅力と価値

奥入瀬溪流の魅力を生み出しているのは安定した水量と穏やかな流れです。氾濫することの少ない奥入瀬溪流では、点在する多くの岩や溪流沿いの木々に苔が生育し、他の溪流では見ることのできない緑一色の景観を生み出します。また、遊歩道もすべて渓谷林の中に整備されています。流れと歩道がほぼ同じ高さにあるため溪流に親しめるのも、水量の安定によって実現できている魅力のひとつです。

②九段の滝

九段の滝は、その名の通り段々になっている岩の上を、水が滑り落ちるように流れています。水量はあまり多くありませんが、落差15mの滝の間近まで歩道が整備されており、自撮りにもオススメのスポットです。



③白布の滝

豊富な水量が、まさに一本の白い布のように流れ落ちる美しい滝です。



④平成の流れ

平成11年(1999年)、大規模な地滑りによって滝状の大きな落差が生じ、白波を豪快に立てる新たな流れが生まれました。遊歩道沿いでは、地滑り後に新たに生育してきた若い植生と、周囲の古い植生との違いも見どころです。



自転車で快適サイクリング

溪流の爽やかなローケーションを自転車で颯と駆け抜ける気持ちよさを体験してみませんか?電動アシスト付自転車なら、登り坂もらくらく!行動範囲も広がるのでお楽しみも増えますよ。

- 営業時間 8:30~16:30
- レンタル料 基本料金 電動アシスト付自転車(3段)/4時間1,500円
シティサイクル(6段)/4時間1,000円
追加料金/延長30分ごとに300円(1台)
- お問い合わせ/奥入瀬溪流館 TEL 0176-74-1233



⑩松見の滝

「日本の滝百選」に選定されている八甲田唯一の名瀑。しかし、現地までは徒歩で往復6時間の距離で登山装備が必要で……。落石や転落の危険性もありますのでご注意ください。

⑥三乱の流れ

ひとつの流れが三つに分かれることから「三」「乱れ」の流れと名付けられたそうです。豊かな水量で激しさはなく、自然の生み出す多彩な表情が見られます。岩の上に植物が生えている様子など、奥入瀬溪流の特徴がわかりやすいポイントです。

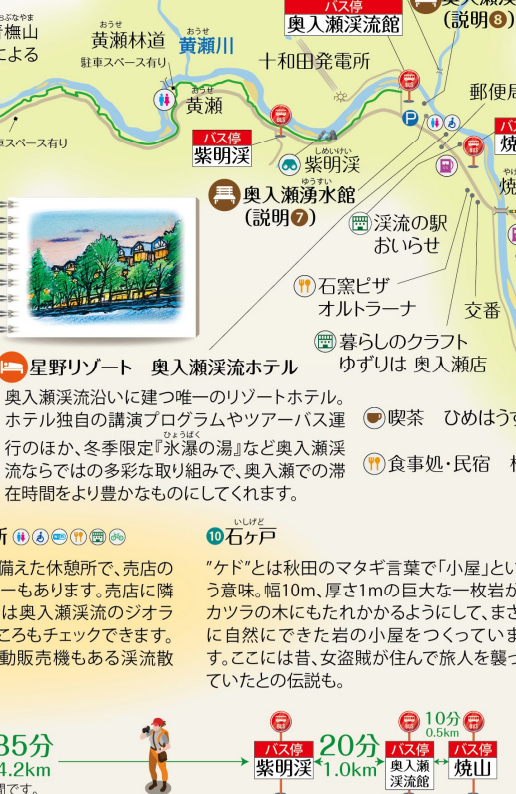
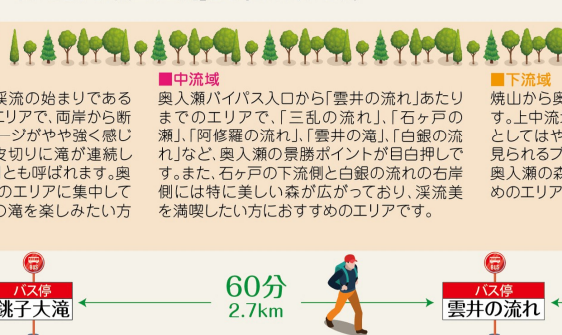
⑦奥入瀬湧水館

大自然の息づかいをたっぷり含んだ「奥入瀬湧流水」を製造している施設で、ガラス越しに製造の様子を見学することもできます。2階には軽食・カフェスペースもあります。

奥入瀬ハイパス

奥入瀬ハイパスから子ノ口につながる新バイパス(青楓山バイパス)を現在建設中です。完成すれば、車両通行による奥入瀬溪流内の動植物への悪影響が緩和されます。

遊覧船発券所・発着所



増水しにくい理由

十和田湖が巨大な「天然のダム」の役割を果たし、大雨が降っても湖で受け止めることができるので、溪流への出水量が抑えられています。さらに、奥入瀬溪流のなだらかな勾配も、水量が安定する要因のひとつです。

こけ玉づくり体験

奥入瀬溪流の美しさの源とも言える「こけ」。その「こけ」を丸めて「小さな奥入瀬」を自分の手で表現してみませんか。お一人からお申込み可能で体験時間は30分程度。料金は、お一人様2,000円。

●お問い合わせ/奥入瀬モスボール工房本店 (奥入瀬溪流館内)
TEL 0176-74-1233
<http://www.mossball.jp/>

⑧奥入瀬溪流館

奥入瀬溪流への入り口、焼山エリアに位置する奥入瀬溪流館は、奥入瀬溪流に関する資料の展示、お土産・物産の販売を行っている他、こけ玉づくりが体験できる「奥入瀬モスボール工房」や、溪流の散策に便利なレンタサイクルもあります。おすすめは「奥入瀬湧流水」で淹れたこだわりのコーヒー、そして話題の「こけソフト」! 休憩スペースもございますので、是非お立ち寄りください。

